

学校マネジメントプラン計画書

- 1 学校マネジメントプランの策定期間
令和6年度～令和8年度（3年間）

今年度は2年目

- 2 目指す学校像

「未来志向型エンジニアの育成」をコンセプトとして、KOBES・M・A・R・T Engineers 育成事業（市立工業高校におけるDX時代に適応した職業人材育成事業）を軸とし、好奇心、探究心、公德心を持つとともに豊かな創造性を兼ね備えた人材の育成を目指す。

- 3 中期経営目標と中期行動計画

「目指す学校像」の実現をより確かなものとするため、中期経営目標と中期行動計画を策定する。

中 期 経 営 目 標	中 期 行 動 計 画
1 「未来志向型エンジニア」の育成	1. 土台となる力の育成 2. 実践力の育成 3. 地域産業を担う人材の育成
2 希望進路の実現	1. 3年間の学びを見通したキャリア教育 2. 個に応じた進路実現への取組 3. 入試の多様化を踏まえた取組
3 部活動・ものづくり活動を通じた人間力の育成	1. チームで取り組むことを通じた豊かな人間性の育成 2. 確かな技術力を基盤とし、ものづくりを通じて社会に貢献をするという崇高な使命感を養う
4 安心・安全な学校づくりの推進	1. 6S活動を通じた快適で安全な学習環境の構築 2. いじめや不登校、特別な支援を必要とする生徒に寄り添った指導体制の充実
5 積極的な情報発信	1. 学校ホームページの適時配信と生徒が主役となる活気あるコンテンツの充実 2. すぐーるを活用した生徒・保護者に向けた学校教育活動の積極的な発信による相互理解と連携の促進

4 重点目標と行動計画

重点目標	行 動 計 画	評 価 指 標
1. 「未来志向型エンジニア」の育成	土台となる力の育成	【Ⅰ】情報活用能力の育成 ・ ICT機器やアプリケーションを活用し、自分の考えやイメージを視覚的・論理的に伝えられる ・ AIやビッグデータ等のデジタルリソースやプログラミング等を活用した分析や制御、シミュレーションを課題の解決に活かすことができる 【Ⅱ】レジリエンスの育成 ・ 目標達成に向けて行動に移し、失敗してもあきらめずに粘り強く最後まで取り組むことができる 【Ⅲ】創造力の育成 ・ 多くの情報の中から論理的に物事を捉え、内包する課題を見つけ、常識や固定観念にとらわれることなく思考し、納得解を導きだせる 【Ⅳ】コミュニケーション力の育成 ・ 他者の意見に耳を傾け、考えや立場の違いを乗り越え、目標達成に向けて多様な人々と協働しながら一人では困難なことを実現できる 【Ⅴ】高い倫理観の育成 ・ 差別や著作権、個人情報の保護と共に、ものづくりに携わる者として利用者の安全や環境負荷等、幅広く高い倫理観を備えた人材を育成する
	実践力の育成	・ 地域や社会で実際に起きていることに着眼し、現実世界で自分がどのような貢献が出来るのかを考え、その理想を実現するために学んだことを手掛かりとしながら探究し、生きた課題と向き合い、試行錯誤を通じて納得解を見いだせる
	地域産業を担う人材の育成	・ K-SMART事業を中心に、大学や地元企業や官公庁と連携し、講演や出前授業、インターンシップ等を通じて、ものづくりの最新動向における知見を深め将来や学習活動に活かす
2. 希望進路の実現	3年間の学びを見通したキャリア教育	・ K-SMART事業を中心に、3年間を見通しながら計画的に取り組むとともに、有識者からの助言や生徒アンケート、社会情勢等をもとに効果を客観的に検証しながら改善することで、持続的に成果を期待できる取り組みとする ・ 資格取得を奨励し、将来に渡って学び続ける姿勢の獲得につなげる

	個に応じた進路実現への取組	・就職希望者の就職内定率100%を目指す ・習熟度別学習の一層の拡充を図る
	入試の多様化を踏まえた取組	・課題研究や課外活動など、本校ならではの特色ある取組の成果を入試に活かす
3. 部活動・ものづくり活動を通じた人間力の育成	チームで取り組むことを通じた豊かな人間性の育成	・個々得意分野を活かすとともに、個性を認め合いながら仲間と共に困難なことに挑戦し、切磋琢磨する中で成長を実感できる体制を構築する
	確かな技術力を基盤とし、ものづくりを通じて社会に貢献をするという崇高な使命感を養う	・「ものづくり」は、手に取る人や使う人の身になって考えるところから始まる営みであることを踏まえ、「ものづくりはひとつづくり」ととらえ、技術力のみならず、マインドの育成を推進する
4. 安心・安全な学校づくりの推進	6S活動を通じた快適で安全な学習環境の構築	・整理整頓清掃等を徹底し、安全で安心な学習環境づくりを推進する ・高い倫理観に根差し、授業規律を自律的に守られる学校づくりを推進する
	いじめや不登校、特別な支援を必要とする生徒に寄り添った指導体制の充実	・「いじめは絶対に許されない」との認識をを学校教育全体を通じて生徒一人一人に徹底するとともに、いじめの未然防止や早期発見に努め、発生時には、いじめ問題対策委員会を核に迅速に対処する体制を構築する ・障がいの有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える「心のバリアフリー」教育の展開を図る
5. 積極的な情報発信	学校ホームページの適時配信と生徒が主役となる活気あるコンテンツの充実	・教職員一人一人が発信者となって生徒の活動や活躍の姿を発信し、生徒の自己有用感や自尊感情を醸成する手立てとするとともに、開かれた学校づくりの一環として、保護者や連携企業、入学を検討する中学生に向けた情報提供の場とする ・閲覧者の視点に立ったレイアウトや内容になるよう努める
	すぐーるを活用した生徒・保護者に向けた学校教育活動の積極的な発信による相互理解と連携の促進	・学年・科通信等を積極的に配信し、学校教育活動の様子や成果を伝えることで、成長の喜びを共に分かち合い、教員と保護者が同じ視点を持って生徒を見守る体制を構築する ・印刷と配付の業務負担の軽減とペーパーレス化を促進する

5 用語解説

(1) K-SMART Engineers育成事業とは

K-SMART Engineers 育成事業とは、デジタルトランスフォーメーション等、産業構造の変化に伴い絶え間なくテクノロジーが進展するなか、市立工業高校において、地域産業界・企業が求める知識や技能、マインドを兼ね備えたポテンシャルの高い技術者を育成する教育システムを構築し、実施する事業をいう。

将来にわたり神戸市域の産業界を支える優秀な人材を育成し、輩出するという事業目的を達成するために、推進委員会を設置し、事業の内容・運営方法及び成果・課題等について、学校教育に専門的知識を有する者、学識経験者、産業界有識者等から幅広く意見を求め、事業の評価、改善を行っている。

(2) 6 S 活動とは

ものづくり人材が備えるべき6つの基本姿勢を示したもので、作業環境の改善を通じて安全性や生産性を高めることを目的としています。

整理・整頓・清掃・清潔・躰（しつけ）・Safetyで構成され、ローマ字表記（一部英語表記）した際に頭文字が全てSとなることから6 Sと呼んでいます。

整理	：	必要と不要を区別
整頓	：	置き場所の明確化
清掃	：	掃除とともに点検
清潔	：	綺麗な状態を維持
しつけ	：	基準と規則を守る
Safety	：	安全な行動をする